

ティーチング・ステートメント

所属 北海道科学大学
名前 池田 圭吾
作成日 2024.03.12

【責任】

機械工学の振動制御を専門とし、実験科目、プログラミング、卒業研究を行っている。校務としては、今年度就職委員、次年度は入試広報センター主任業務に従事。学外活動として、機械学会北海道支部運営委員会、日本ロボット学会編集委員として活動している。

【理念】

複雑化する社会の中で、学生自身の強みを理解・探索し、自ら学び、自らの道を切り開くようになってもらいたい。そのために、知識を広げることの重要性を理解し、例えば機械工学に関係のない分野に志望していても本人を尊重できる教員になることが非常に重要だと考える。また、常に学生とコミュニケーションをとり、学生に頼られる教員でありたいと思う。さらに私自身も常に向上心を持ち、分野を問わず研究に励み、学生に提示できる豊富な知識量を保有したいと考える。

専門分野に関しては、さらに知見を深めると共に、他大学や企業との共同研究を通じて学びたい学生には、より専門知識を学べる場所を提供したいと考える。そのためにも、学会活動や学外活動に力を入れ、大学院に進学したいと思う学生を増やすことも重要だと考える。このようにして、社会に貢献できる人材や幅広い業界で活躍できる人材を育成も精進していきたい。

【方針・方法】

複雑化する社会に自ら活躍できるフィールドを見つけ、機械工学の幅広い知識を身に着けるための教育を実施する。また、専門的に学びたい学生に対しては、大学院進学を推奨し、そのための土台として、研究室の横のつながり、縦のつながりを増やし、協力し合える環境を整える。これらを踏まえ社会貢献や、学生自身の幸福のための方針を示す。

方針 1

・幅広い学問への興味を持たせる

→授業内で機械工学に関する分野を幅広く紹介する。さらに学生間で知識を共有できる授業を展開する。

→私自身の経験から学生の役に立つ内容を共有する（進学した先の話しなど）

→高校訪問など実施し、高校生にも機械工学について考える場所を設ける。

→PF 面談などで学生に興味がある分野や内容を把握する。

方針 2

- ・ 学生に世の中の機械工学について興味を持たせる
- 学外研修など企業と教養を広げる。
- 自身の研究が世の中のどこに役に立っているか考える。
- 他大学で行われている研究など学会活動を通して理解し、常に最新の研究に関わる。

方針 3

- ・ 学生に還元する
- 学生が学べる場所を多く提供する。産官学と連携し教育できる環境を作る。
- 学会活動などイベントに希望学生を参加させ、他大学の先生、生徒と交流を深め、教養を広げる
- 学科のOB・OGを増やし、卒業生が活躍する企業と在生をつなげる。
- 就職先や機械工学に関係のある企業の知識を増やす。

方針 4

- ・ 大学院進学率を増やす。
- 研究活動（学会発表）を学生に発表させ、自身の研究の価値を理解させる。
- 学生自ら、研究費を取得できるように教育し、自身の研究を充実させる。

方針 5

- ・ 自ら学ぶ
- PBL 授業を実施し学生間で学んだ知識を共有する。
- 卒業研究を通して学会発表をする。
- 研究室内の環境を整える。

【成果・評価】

- ・ 学生が積極的に学会活動をしてくれるようになった。
- ・ 学生が学会発表で受賞した。
- ・ ゼミ人気が出た。
- ・ ロボット学会編集委員企画を仕切っており企画が進んだ

【目標】

- ・ 毎年最低でも 1 編の論文を投稿する（年間）
- ・ 機械工学に興味を示す高校生を増やし、第一志望で入学を希望する学生を増加させる。（2025 年）
- ・ 学生の就職口を広げる。
- ・ 研究活動や国外研修などに積極的に参加し、自身の知見を広げる。（期間なし）